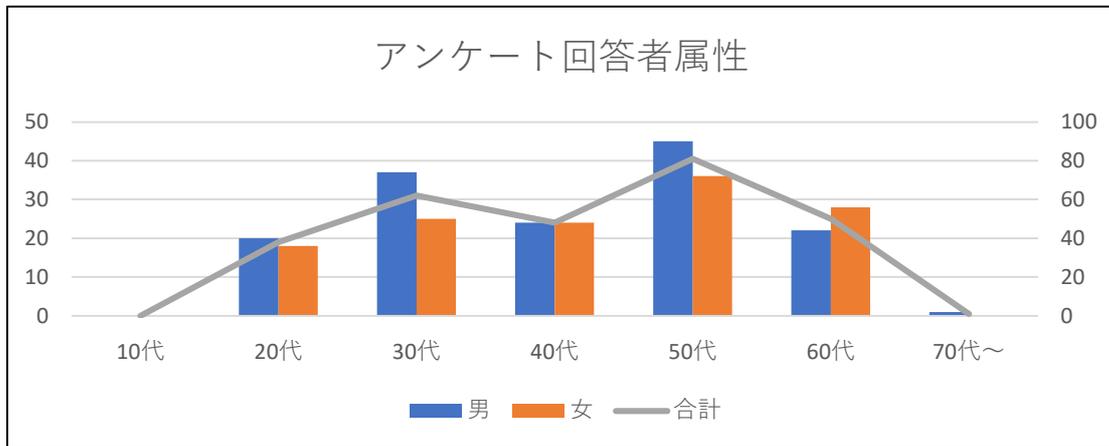


- アンケート実施月 2023.4月号回答数
- アンケート回答状況（※男女数は参考値）

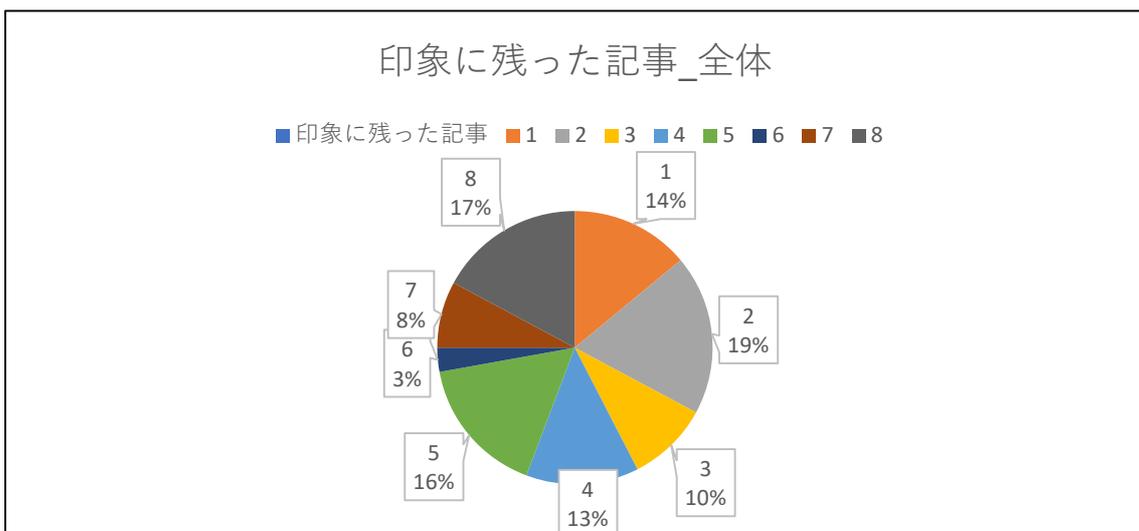
	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代～	合計
男	0	20	37	24	45	22	1	149
女	0	18	25	24	36	28	0	131
合計	0	38	62	48	81	50	1	280



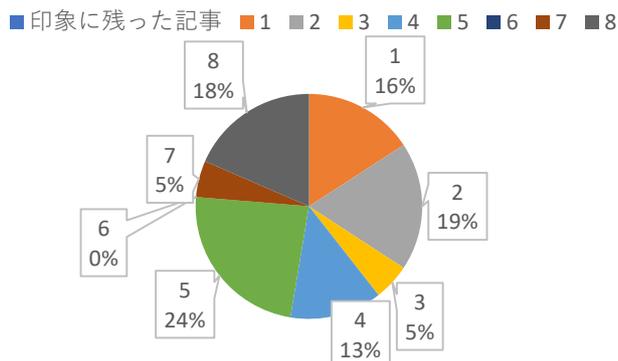
### 3. 印象に残った記事

#### 【記事一覧】

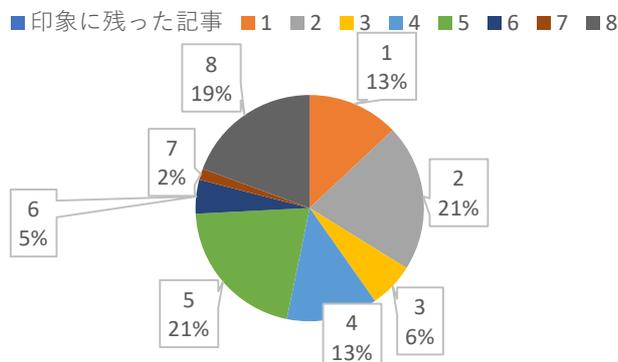
- 都本部第72回定期大会 2023年度運動方針を確立
- 新しい仲間の皆様へ
- 東奔西走
- 都本部第72回定期大会 質疑答弁
- 2023春闘交渉結果について
- 自治労組織内議員が国会で質疑
- 会計年度任用職員に勤勉手当支給を可能とする地方自治法改正案が国会に提出
- 映画評



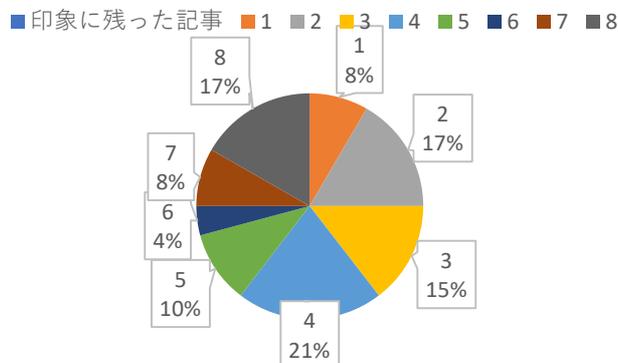
### 印象に残った記事\_20代



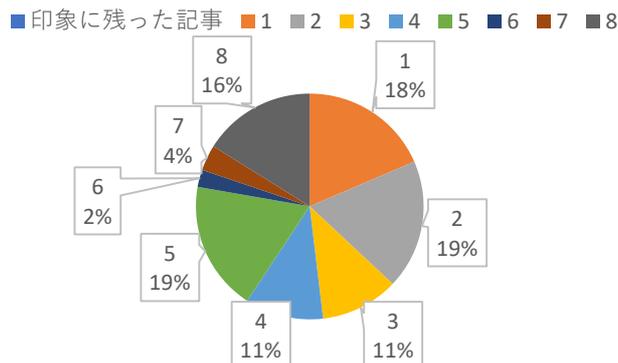
### 印象に残った記事\_30代

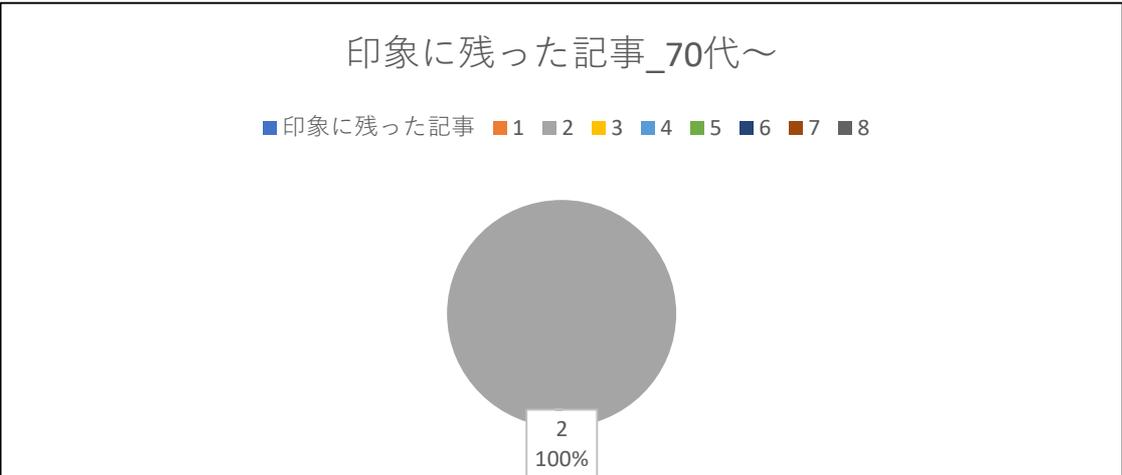
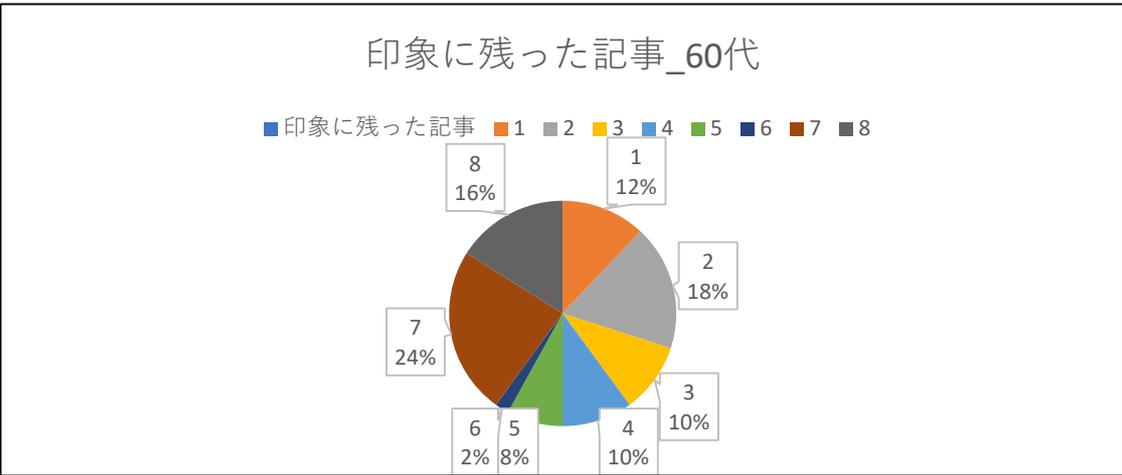


### 印象に残った記事\_40代



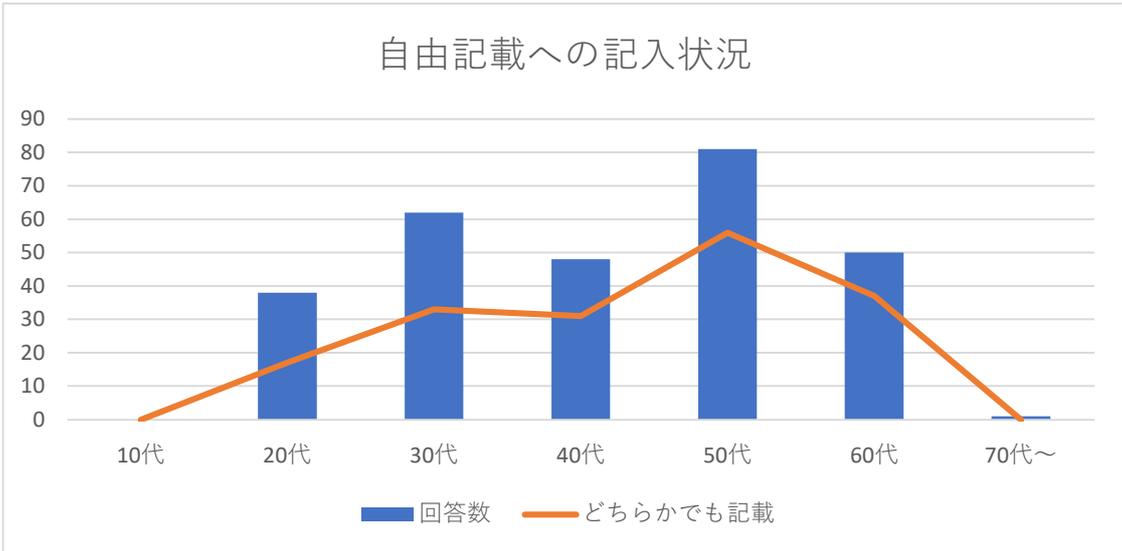
### 印象に残った記事\_50代





4. 自由記載欄の記入状況

(1) 全体回答数における自由記載意見の状況



## (2) 自由意見の傾向分析（単語出現数からの傾向）

今月号における自由記載のキーワードは「職員」「組合」のほか、「業務」や「仕事」の単語が多く用いられている。

### <職員>

- ・会計年度任用職員について、処遇改善を望む声が多く、勤勉手当の支給が「ようやく可能となったか」といった声があるとともに「次は正規職員の待遇を改善して給料を上げていかなければ、新規職員の採用はこない。現役の職員の退職も止められない」、「会計年度任用職員の処遇改善も結構ですが、再任用短時間職員は3年間給与が1円も上がっていません。こちらにも目を向けて下さい。」、との声もある。
- ・正規職員や常勤職員について採用や処遇改善を望む声は多い。「仕事はどんどん増えるのに、いつになったら職員は増えるのでしょうか」といった声が届いている。
- ・50歳代女性、60歳代男女から「職員」の単語を用いた意見内容が多くみられる。

### <組合>

- ・多くは組合への期待や感謝、励ましの声となっている。
- ・組合離れ、後継者不足についての懸念の声も複数あり、「組合の必要性伝えることが年々難しく、厳しくなってきたと感じる」との声がある中で、「武蔵野市の質問は都市部が進む組合員意識の希薄さを表している。現場の声にどのように本部が答えていくのかは重要」と都本部の姿勢の重要性に触れられた意見もあった。
- ・20歳代、40歳代、50歳代の男性から「組合」の単語を用いた意見内容が多くみられる。

### <業務、仕事>

- ・業務量の多さ、増えている現状についての声が多い
- ・「残業しないと回らない」、「サービス残業しろとは言われないが、業務の内容によって残業が許されず、サービス残業とならざるを得ない」といった状況などの声も届いている。
- ・30歳代から50歳代の女性からの意見が多くみられる。